

平成19年5月8日

各位

東京都千代田区二番町5番地5  
 会社名 21LADY株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 広野道子  
 (本名: 藤井道子)  
 (コード番号: 3346 名証セントレックス)  
 情報取扱責任者: 経営管理担当取締役 岡田剛士

平成19年3月期業績予想(連結・個別)修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成18年11月10日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

【連結】

(1) 平成19年3月期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,350	75	25
今回修正予想(B)	4,439	33	115
増減額(B-A)	88	108	140
増減率(%)	2.0	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,013	33	40

(参考) 一株当たり予想当期純利益 2,666円72銭

【個別】

(2) 平成19年3月期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	191	6	1
今回修正予想(B)	194	7	26
増減額(B-A)	3	1	27
増減率(%)	1.5	16.6	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	378	13	12

(参考) 一株当たり予想当期純利益 601円39銭

## 2. 修正の理由

### (1) 連結業績

当期の連結業績につきましては、(株)洋菓子のヒロタにおいて、新規出店及び新製品の投入効果等から、売上高に関しましては前回予想を達成することができました。一方、利益面につきましては、同じくヒロタ事業において3月17日に公表させていただきました自主回収・販売停止に起因する原価の上昇や販管費の上昇等により、3月単月において約90百万円の利益減少となり、特別損失において公告費用等の製品回収関連損失を約43百万円計上いたしました。また、減損損失を約33百万円、投資有価証券評価損約24百万円を計上いたしました結果、連結業績予想は、売上高4,439百万円、経常損失33百万円、当期純損失115百万円の見込となりました。

### (2) 個別業績

当期の個別業績につきましては、利益率の向上に努めた結果、前年同期に比べて改善し、経常利益は予想を上回る結果となりました。また、当期利益に関しましては、子会社投資損失引当金戻入益による約25百万円の特別利益及び投資有価証券売却益約11百万円を計上したものの、減損損失のうち約27百万円、投資有価証券評価損約24百万円を特別損失として計上したため、予定しておりました収益を確保できない見込みとなりました。(子会社投資引当金戻入益に関しましては、連結上は相殺されます。)これらの要因により、個別の業績予想は売上高194百万円、経常利益7百万円、当期純損失26百万円になる見込です。

#### [見通しに関する注意事項]

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる可能性があります。

本件に関するお問い合わせ先

21LADY株式会社 経営企画担当(大伴、倉田、薬師寺) 03-3556-2121

以 上